

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第12期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社ココカラファイン

【英訳名】 cocokara fine Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 塚本 厚志

【本店の所在の場所】 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目17番6号

【電話番号】 045 (548) 5929

【事務連絡者氏名】 管理本部財務部長兼財務購買チームマネジャー 佐藤展史

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目17番6号

【電話番号】 045 (548) 5957

【事務連絡者氏名】 管理本部財務部長兼財務購買チームマネジャー 佐藤展史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第11期 第1四半期 連結累計期間	第12期 第1四半期 連結累計期間	第11期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(百万円)	100,647	102,324	400,559
経常利益	(百万円)	3,485	3,617	15,233
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	2,170	2,236	9,158
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	2,179	2,219	9,099
純資産額	(百万円)	89,078	96,361	95,081
総資産額	(百万円)	183,356	198,360	172,727
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	90.34	93.09	381.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	48.6	48.6	55.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社グループは「株式付与E S O P信託」を導入しております。
1株当たり四半期(当期)純利益の基礎となる期中平均株式数は、その計算において控除する自己株式に当該信託口が保有する当社株式を含めております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の成長鈍化など先行きは不透明な状況が続いています。

当社が属するドラッグストア業界は、同業各社の積極的な出店やEC拡大による購買チャネルの多様化、法的規制緩和による競争環境のめまぐるしい変化を受け、異業種を交えた業務・資本提携、M&A等、企業の生き残りをかけた統合・再編の動きが活発化しております。また、調剤薬局業界においては、社会保障・医療の質に対する国民意識の高まりを背景に、高度な服薬指導、服薬情報の一元的・継続把握を行う「かかりつけ薬剤師」の育成や「健康サポート薬局」の展開、後発医薬品の使用促進等、業界として多様な医療ニーズへの対応が求められております。

ドラッグストア・調剤事業

当社は、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念のもと、グループ全社が一体となって、お客様へのサービスや利便性を徹底的に高めると同時に、高収益体質への変革を推進しております。2020年3月期におきましては、利便性を高めた都市型生活対応店舗や調剤店舗の拡充、新設した「商品・店舗企画部」におけるマーケティング、商品選定、販売促進、店舗設計・改装等を行う一気通貫型の店舗づくり、ココカラクラブカードやスマートフォン用アプリ「ココカラ公式アプリ」、SNSや他社との共同販促などを活用した全方位営業、お客様相談センターやココカラ公式アプリを通じて寄せられる「お客様の声」をもとにした接客・接客サービスの改善、調剤事業における多様な医療ニーズ・診療報酬改定への対応、地域の方々の健康増進を支援する「健康サポート薬局」づくり、店舗オペレーションの効率化・生産性向上を目的とする、タブレット型POSレジの全店導入、調剤事業におけるレセコン（診療報酬明細書を作成するシステム）の全店統一等、諸施策を推進しております。

出退店につきましては、新規14店舗を出店、11店舗を退店し、収益改善を図るとともに、16店舗の改装を実施し、店舗の新陳代謝を促進いたしました。当第1四半期連結会計期間末の当社グループ店舗数は、下表のとおり1,357店舗となりました。

調剤事業におきまして、2018年4月の診療報酬改定に伴う薬価引き下げや報酬体系の大幅な見直しへの対応が進んだことにより収益は改善いたしました。一方、ドラッグストア事業における全国的な天候不順による客数減や、気温が低く推移したことによる夏物季節商材の苦戦があり、当第1四半期連結累計期間の売上高は101,525百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2,920百万円（同1.3%増）となりました。

[国内店舗数の推移]

	2019年4月1日 期首時点の総店舗数	出店	退店	業態変更	2019年6月30日 現在の総店舗数
ドラッグストア店舗数	1,172	+9	10	1	1,170
（内、調剤併設店舗数）	(110)	(+2)	(-)	(1)	(111)
調剤専門店店舗数	182	+5	1	+1	187
総店舗数	1,354	+14	11	-	1,357
（内、調剤取扱）	(292)	(+7)	(1)	(-)	(298)

業態変更：ドラッグストア店舗から調剤専門店店舗への変更（または調剤専門店店舗からドラッグストア店舗への変更）

[国内地域別店舗分布状況(2019年6月30日現在)]

地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数
北海道	27	山梨県	2	鳥取県	14	熊本県	9
宮城県	6	長野県	1	島根県	9	大分県	5
山形県	1	岐阜県	15	岡山県	9	沖縄県	7
福島県	3	静岡県	35	広島県	28		
茨城県	3	愛知県	103	山口県	72		
栃木県	7	三重県	60	徳島県	5		
群馬県	1	滋賀県	7	香川県	6		
埼玉県	41	京都府	47	愛媛県	5		
千葉県	25	大阪府	176	高知県	4		
東京都	253	兵庫県	104	福岡県	58		
神奈川県	61	奈良県	37	佐賀県	2		
新潟県	62	和歌山県	30	長崎県	17	合計	1,357

介護事業

当社は、医療・介護に携わる多職種協働により、在宅医療・介護を一体的に提供する「地域におけるヘルスケアネットワーク」の構築を社会的使命と位置づけ推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、在宅療養を支える機能を強化するため、介護・看護サービスのよりシームレスな提供への取り組みと、デイサービス・訪問看護への設備投資や人材確保への投資を継続しており、また、医療機関との連携や地域包括ケアへの取り組みとして、在宅サービスでのタブレット端末の導入等新たな施策にも取り組んでおります。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は805百万円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益(営業利益)は15百万円(同22.7%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は102,324百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は2,939百万円(同1.1%増)、経常利益は3,617百万円(同3.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,236百万円(同3.0%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、198,360百万円となり、前連結会計年度末に比べて25,632百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金21,706百万円の増加、売掛金2,017百万円の増加、たな卸資産592百万円の増加、その他流動資産(未収入金他)201百万円の減少、有形固定資産992百万円の増加、無形固定資産462百万円の増加、投資その他の資産63百万円の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、101,998百万円となり、前連結会計年度末に比べて24,352百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金14,227百万円の増加、短期借入金6,000百万円の増加、未払法人税等653百万円の減少、賞与引当金993百万円の減少、その他流動負債(未払金他)5,584百万円の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、96,361百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,280百万円増加いたしました。主な要因は、配当金915百万円の支払いによる減少、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益2,236百万円による増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はございません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の仕入実績、販売実績に著しい変動はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,472,485	25,472,485	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	25,472,485	25,472,485	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日	-	25,472,485	-	1,000	-	250

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,377,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,033,900	240,339	-
単元未満株式	普通株式 61,085	-	-
発行済株式総数	25,472,485	-	-
総株主の議決権	-	240,339	-

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式200株が含まれております。なお、「議決権の数」の欄には、同機構名義の議決権の数2個が含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式54株が含まれております。
- 3 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、「株式付与E S O P信託」により信託口が所有する当社株式が73,900株含まれております。なお、当該株式は連結財務諸表及び財務諸表において自己株式として表示しております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株ココカラファイン	神奈川県横浜市港北区 新横浜三丁目17番 6号	1,377,500		1,377,500	5.42
計	-	1,377,500		1,377,500	5.42

(注) 株式付与E S O P信託口が所有する当社株式は上記自己株式に含まれておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,381	38,087
売掛金	21,367	23,385
たな卸資産	47,652	48,244
その他	21,761	21,559
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	107,159	131,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,492	12,981
土地	11,031	11,077
その他(純額)	5,208	5,665
有形固定資産合計	28,732	29,725
無形固定資産		
のれん	1,606	1,681
その他	2,917	3,305
無形固定資産合計	4,524	4,986
投資その他の資産		
敷金及び保証金	21,597	21,756
その他	10,899	10,800
貸倒引当金	186	182
投資その他の資産合計	32,309	32,373
固定資産合計	65,567	67,085
資産合計	172,727	198,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,010	65,238
短期借入金	300	6,300
未払法人税等	1,895	1,242
賞与引当金	2,090	1,097
ポイント引当金	3,654	3,674
その他	10,827	16,412
流動負債合計	69,778	93,964
固定負債		
株式給付引当金	141	160
退職給付に係る負債	4,297	4,382
資産除去債務	2,071	2,096
その他	1,357	1,394
固定負債合計	7,867	8,033
負債合計	77,646	101,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	34,566	34,566
利益剰余金	66,063	67,361
自己株式	6,434	6,434
株主資本合計	95,196	96,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	83
退職給付に係る調整累計額	222	214
その他の包括利益累計額合計	114	131
純資産合計	95,081	96,361
負債純資産合計	172,727	198,360

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	100,647	102,324
売上原価	74,183	74,830
売上総利益	26,463	27,494
販売費及び一般管理費	23,557	24,554
営業利益	2,906	2,939
営業外収益		
発注処理手数料	344	341
受取賃貸料	202	207
その他	255	360
営業外収益合計	802	909
営業外費用		
賃貸費用	211	223
その他	12	8
営業外費用合計	223	231
経常利益	3,485	3,617
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	10	7
賃貸借契約解約損	4	89
減損損失	6	19
関係会社株式評価損	-	104
その他	1	0
特別損失合計	23	221
税金等調整前四半期純利益	3,461	3,396
法人税等合計	1,291	1,160
四半期純利益	2,170	2,236
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,170	2,236

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,170	2,236
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3	24
退職給付に係る調整額	6	8
その他の包括利益合計	9	16
四半期包括利益	2,179	2,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,179	2,219
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
税金費用の計算	<p>当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p> <p>なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びその他の償却費、のれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費及びその他の償却費	852百万円	972百万円
のれん償却額	79百万円	39百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	915	38.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

(注) 2018年6月26日定時株主総会決議に係る「配当金の総額」には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式に対する配当金2百万円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	915	38.00	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

（注）2019年6月26日定時株主総会決議に係る「配当金の総額」には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式に対する配当金2百万円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	ドラッグストア・ 調剤事業	介護事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	99,854	792	100,647	-	100,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	-	0
計	99,855	792	100,648	-	100,648
セグメント利益	2,884	19	2,903	-	2,903

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	2,903
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益計算書の営業利益	2,906

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	ドラッグストア・ 調剤事業	介護事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,519	805	102,324	-	102,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	0	6	-	6
計	101,525	805	102,330	-	102,330
セグメント利益	2,920	15	2,935	-	2,935

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,935
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	2,939

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	90円34銭	93円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	2,170	2,236
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	2,170	2,236
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,021	24,020

(注) 1. 普通株式の期中平均株式数について、その計算において控除する自己株式に、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を含めております。なお、当該信託口が所有する当社株式の期中平均株式数は、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結期間において73,900株であります。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月13日

株式会社ココカラファイン
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	神 前 泰 洋	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	滑 川 雅 臣	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ココカラファインの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ココカラファイン及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。